

ビブリオバトル

本プログラムのねらい

- ◎本を通じた参加者同士のコミュニケーションを図ることができるとともに、読書活動の楽しさを実感することができる。
- 中高生の読書活動を活性化する方法を知る。

期待される効果

子供を読書好きにし、学力を向上させたいと願う保護者が、**自ら集団で読書活動を楽しむ方法を知り、家庭教育に生かそうとする。**

活動の様子

本を紹介し合うプレゼンを聞き、参加者が投票します。

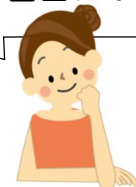
まず、子供の読書推進には家庭での保護者の読書習慣が大切なんだそうです。



ビブリオバトルって、好きな本の書評を戦わせるゲームなのね。



家でも、兄弟でビブリオバトルをやらせてみたら、面白いかも。



【準備物等】

- 必要な書籍
- 投票用紙
- タイマー

主な流れ

事前に5名程度、参加者を募り、自分の勧める本を5分間で紹介し、その後、約3分間質疑応答を行い、会場の参加者全員で一番読みたくなった「チャンプ本」を決定する。

- 1 発表者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2 1人5分間で本を紹介(4分で予鈴1回、5分で振鈴2回)
- 3 発表の際は本とタイマーのみで、あとは参加者を見ながら発表者が本について語る。
- 4 各発表後、質疑応答を3分間実施する。その際、批判等は避け、参加者全員で質疑。
- 5 全発表終了後、「どの本が読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員各1票を投じ、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。投票用紙にはコメントも記入する。

運営上の留意点

発表者を中高生にすると盛り上がります。

最後にビブリオバトル全体の講評(発表者へのねぎらいや敗者も含めてそれぞれの良さなど)を行うことのできる学校図書館関係者に依頼しておくといでしょう。中高生がライブで大人に向かって本のよさを発表する場を提供することで、中高生だけでなく、保護者の読書活動に対する意識も変えることにつながります。保護者の読書習慣が子供に及ぼす影響について考えることができるよう締めくくきましょう。